

平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 エレマテック株式会社

コード番号 2715 URL <http://www.elematec.com>

代表者 (役職名) 代表取締役会長

(氏名) 櫻井 恵

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長執行役員

(氏名) 磯上 篤生

TEL 03-3454-3526

四半期報告書提出予定日 平成26年7月31日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	39,215	23.8	1,411	△2.9	1,398	△9.9	1,005	△5.1
26年3月期第1四半期	31,680	△1.2	1,453	12.7	1,552	25.6	1,060	38.7

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 635百万円 (△59.7%) 26年3月期第1四半期 1,577百万円 (141.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	49.13	—
26年3月期第1四半期	51.80	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%		
27年3月期第1四半期	70,354		36,865	52.4	1,800.67	
26年3月期	73,425		36,943	50.0	1,792.52	

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 36,865百万円 26年3月期 36,698百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	27.00	—	30.00	57.00
27年3月期	—				
27年3月期(予想)		27.00	—	32.00	59.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	160,000	11.5	5,600	6.7	5,650	0.1	4,000	3.5	195.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期1Q	21,152,473 株	26年3月期	21,152,473 株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	679,198 株	26年3月期	679,198 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期1Q	20,473,275 株	26年3月期1Q	20,473,439 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10
4. 補足情報	10
海外売上高	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動があったものの、企業収益や雇用情勢の改善により、全体としては緩やかな回復基調で推移しました。

エレクトロニクス業界におきましては、消費増税後も白物家電の販売は堅調に推移し、パソコンの販売もウィンドウズXPの保守終了に対応した買い替えにより堅調に推移しました。また、電子部品等の生産もスマートフォン向けを中心に堅調に推移しました。

このような状況の中、当社グループは、スマートフォンやテレビ向けディスプレイ関連の部材に注力した販売活動に努めました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比23.8%増の392億15百万円となりました。

利益面につきましては、販売費及び一般管理費が増加したことから、営業利益は、前年同期比2.9%減の14億11百万円となりました。

経常利益は、営業利益が減少し為替差損を計上したことから、前年同期比9.9%減の13億98百万円となりました。

税金等調整前四半期純利益は、経常利益が減少したことから、前年同期比9.9%減の13億98百万円となり、四半期純利益は、前年同期比5.1%減の10億5百万円となりました。

当社グループの報告セグメントを基にした、当第1四半期連結累計期間における地域別販売（セグメント間取引の相殺消去前）状況の概要は、以下のとおりであります。

(日本)

売上高は、スマートフォンやテレビ向けディスプレイ関連部材の販売が増加したことから、前年同期比15.9%増の291億17百万円となりました。営業利益は、前年同期比21.4%減の5億33百万円となりました。

(中国)

売上高は、スマートフォン向けディスプレイ関連部材の販売が増加したことから、前年同期比22.0%増の145億36百万円となりました。営業利益は、前年同期比2.8%増の5億81百万円となりました。

(その他アジア)

売上高は、テレビ向けディスプレイ関連部材の販売が増加したことから、前年同期比39.8%増の82億97百万円となりました。営業利益は、前年同期比19.3%増の1億83百万円となりました。

(欧米)

売上高は、自動車向け各種関連部材の販売が増加したことから、前年同期比51.0%増の10億99百万円となりました。営業利益は、前年同期比469.1%増の50百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比4.2%減の703億54百万円となりました。

流動資産は、「現金及び預金」及び「未収消費税等」が減少したこと等により、前連結会計年度末比4.6%減の652億54百万円となりました。

固定資産は、「退職給付に係る資産」が増加したこと等により、前連結会計年度末比2.0%増の50億99百万円となりました。

流動負債は、「支払手形及び買掛金」が減少したこと等により、前連結会計年度末比8.2%減の333億79百万円となりました。

固定負債は、「退職給付に係る負債」が増加したこと等により、前連結会計年度末比1.2%増の1億8百万円となりました。

純資産は、「利益剰余金」が増加したものの、「為替換算調整勘定」及び「少数株主持分」が減少したこと等により、前連結会計年度末比0.2%減の368億65百万円となり、自己資本比率は、52.4%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べ19億96百万円減少し、128億12百万円となりました。

営業活動により使用されたキャッシュ・フローは、8億92百万円となりました。主な要因としましては、税金等調整前四半期純利益が13億98百万円、売上債権の増加による資金流出が3億11百万円、仕入債務の減少による資金流出が19億93百万円、未収消費税等の増加による資金獲得が9億24百万円、法人税等の支払による資金流出が5億70百万円であります。

投資活動により使用されたキャッシュ・フローは、2億87百万円となりました。主な要因としましては、子会社出資金の取得による資金流出が2億60百万円であります。

財務活動により使用されたキャッシュ・フローは、5億82百万円となりました。要因としましては、配当金の支払による資金流出が5億82百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の連結業績予想につきましては、平成26年4月24日公表の連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。但し、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を変更致しました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る資産が177百万円増加し、利益剰余金が114百万円増加しております。また、この適用に伴う損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,809	12,812
受取手形及び売掛金	43,617	43,367
たな卸資産	7,337	7,205
未収消費税等	1,742	818
繰延税金資産	451	444
その他	789	926
貸倒引当金	△322	△321
流動資産合計	68,426	65,254
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,460	2,454
減価償却累計額	△1,695	△1,707
建物及び構築物 (純額)	764	746
機械装置及び運搬具	1,007	967
減価償却累計額	△644	△634
機械装置及び運搬具 (純額)	362	332
土地	1,663	1,663
その他	650	631
減価償却累計額	△478	△465
その他 (純額)	171	165
有形固定資産合計	2,962	2,908
無形固定資産		
ソフトウェア	215	208
その他	12	56
無形固定資産合計	228	264
投資その他の資産		
投資有価証券	612	612
繰延税金資産	148	81
保険積立金	274	293
投資不動産	391	389
退職給付に係る資産	49	229
その他	426	415
貸倒引当金	△95	△94
投資その他の資産合計	1,808	1,926
固定資産合計	4,999	5,099
資産合計	73,425	70,354

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	34,094	31,467
未払法人税等	707	530
賞与引当金	223	246
役員賞与引当金	—	16
関連会社整理損失引当金	30	30
その他	1,316	1,087
流動負債合計	36,374	33,379
固定負債		
退職給付に係る負債	38	39
その他	69	69
固定負債合計	107	108
負債合計	36,481	33,488
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,142	2,142
資本剰余金	3,335	3,335
利益剰余金	30,897	31,403
自己株式	△694	△694
株主資本合計	35,681	36,187
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	107	115
繰延ヘッジ損益	△1	△0
為替換算調整勘定	856	509
退職給付に係る調整累計額	54	53
その他の包括利益累計額合計	1,017	678
少数株主持分	245	—
純資産合計	36,943	36,865
負債純資産合計	73,425	70,354

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	31,680	39,215
売上原価	28,096	35,321
売上総利益	3,583	3,893
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	762	842
役員報酬	54	44
運賃及び荷造費	275	374
法定福利費	111	130
旅費及び交通費	153	171
減価償却費	44	48
賞与引当金繰入額	146	202
役員賞与引当金繰入額	16	16
退職給付費用	54	54
貸倒引当金繰入額	△63	△1
その他	574	597
販売費及び一般管理費合計	2,129	2,481
営業利益	1,453	1,411
営業外収益		
受取利息	3	4
受取配当金	1	1
貸貸収入	23	25
為替差益	74	—
その他	4	5
営業外収益合計	107	37
営業外費用		
支払利息	3	0
貸貸費用	5	5
為替差損	—	32
その他	0	13
営業外費用合計	8	50
経常利益	1,552	1,398
特別利益		
投資有価証券売却益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
投資有価証券売却損	—	0
特別損失合計	—	0
税金等調整前四半期純利益	1,552	1,398
法人税等	476	413
少数株主損益調整前四半期純利益	1,076	984
少数株主利益又は少数株主損失(△)	15	△20
四半期純利益	1,060	1,005

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,076	984
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16	8
繰延ヘッジ損益	12	1
為替換算調整勘定	472	△357
退職給付に係る調整額	—	△1
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△0
その他の包括利益合計	501	△349
四半期包括利益	1,577	635
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,544	667
少数株主に係る四半期包括利益	33	△31

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,552	1,398
減価償却費	65	69
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△228	△1
受取利息及び受取配当金	△5	△6
売上債権の増減額 (△は増加)	5,800	△311
たな卸資産の増減額 (△は増加)	212	27
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,250	△1,993
未収消費税等の増減額 (△は増加)	977	924
その他	△821	△434
小計	5,302	△327
利息及び配当金の受取額	5	6
利息の支払額	△2	△0
法人税等の支払額	△851	△570
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,453	△892
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△41	△31
無形固定資産の取得による支出	△78	△13
投資不動産の賃貸による収入	20	23
保険積立金の積立による支出	△24	△18
子会社出資金の取得による支出	—	△260
その他	13	12
投資活動によるキャッシュ・フロー	△109	△287
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	344	—
配当金の支払額	△549	△582
その他	△0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△204	△582
現金及び現金同等物に係る換算差額	298	△234
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,436	△1,996
現金及び現金同等物の期首残高	12,793	14,809
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,229	12,812

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	中国	その他 アジア	欧米	計		
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	16,013	10,240	4,724	701	31,680	—	31,680
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	9,108	1,677	1,208	26	12,021	(12,021)	—
計	25,121	11,918	5,933	727	43,701	(12,021)	31,680
セグメント利益	678	566	154	8	1,407	46	1,453

(注) 1. セグメント利益(営業利益)の調整額は、セグメント間の消去額を記載しております。

2. 日本以外の各セグメントに属する国または地域は、次のとおりであります。

- (1) 中国……………中国(香港を含む)
- (2) その他アジア…台湾、韓国、インド、東南アジア
- (3) 欧米……………USA、チェコ

当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	中国	その他 アジア	欧米	計		
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	17,494	13,055	7,604	1,060	39,215	—	39,215
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	11,623	1,480	692	38	13,834	(13,834)	—
計	29,117	14,536	8,297	1,099	53,050	(13,834)	39,215
セグメント利益	533	581	183	50	1,349	62	1,411

(注) 1. セグメント利益(営業利益)の調整額は、セグメント間の消去額を記載しております。

2. 日本以外の各セグメントに属する国または地域は、次のとおりであります。

- (1) 中国……………中国(香港を含む)
- (2) その他アジア…台湾、韓国、インド、東南アジア
- (3) 欧米……………USA、メキシコ、チェコ

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 補足情報

海外売上高

前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

	中国	その他アジア	その他	合計
I 海外売上高(百万円)	11,133	6,086	762	17,983
II 連結売上高(百万円)	—	—	—	31,680
III 海外売上高の連結売上高に占める割合(%)	35.1	19.2	2.4	56.8

(注) 国または地域の区分の方法及び各区分に属する主な国または地域は、次のとおりであります。

① 国または地域の区分の方法……………地理的近接度による。

② 各区分に属する主な国または地域……………中国(香港を含む)

その他アジア：台湾、韓国、インド、東南アジア

当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

	中国	その他アジア	その他	合計
I 海外売上高(百万円)	14,513	8,652	1,129	24,295
II 連結売上高(百万円)	—	—	—	39,215
III 海外売上高の連結売上高に占める割合(%)	37.0	22.1	2.9	62.0

(注) 国または地域の区分の方法及び各区分に属する主な国または地域は、次のとおりであります。

① 国または地域の区分の方法……………地理的近接度による。

② 各区分に属する主な国または地域……………中国(香港を含む)

その他アジア：台湾、韓国、インド、東南アジア